光る✨地域資源🍃
～歩行者数アップまちづくり～

教員　浅野耕一　山口邦雄　小川宏樹
まち環境班　大町グループ　菅原功子　小熊耕平　小玉彩子　篠原美由希　伊藤正太
六日町グループ　加藤辰彦　新田裕磨　千葉　遥　木村洋子　佐藤直樹
Akita Prefectual University 秋田県立大学

目的

鹿角市花輪中心市街地の**再生・活性化**に繋がる活用像、整備像等の提案を行うこと

人の往来→**回遊性の向上が不可欠**

現状分析

- 組合病院跡地は複合施設となり新たな拠点となる
- 他県から見た場合秋田県の玄関となる
- ポケットパークが点在している
- 人口減少・少子高齢化の進行
- 蔵が点在、古い建物が残る
- 自然に囲まれている
- 水が資源であり、酒が名産

（課題）

1. 少子高齢化／人口交流の拡大、地場産業育成
2. 拠点整備の充実／バリアフリー、公園整備等
3. 賑わいの創出／産業の活力、地産地消

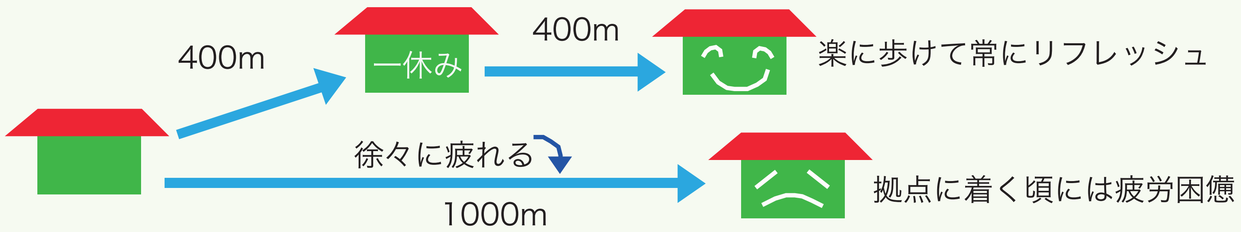
方針

花輪中心市街地に多く存在する地域資源を活かすこと、新たな価値を見出すことによる
文化の継承、持続的なまちづくりを目指す

４００理論

人の歩ける距離＝400m→10 分程度

400m ごとに足をとどめる場所（＝拠点）を配置
→無理のない回遊が可能となり人の往来が増加し地域活性化につながる



６つの拠点

①鹿角組合総合病院跡地地区 → 文化交流拠点　②JR 鹿角花輪駅前地区 → 交通交流拠点
③旧関善酒店・定期市場地区 → 歴史交流拠点　④既存商店街：新町・大町地区→ 商業交流拠点
⑤福祉プラザ地区（整備済み） → 福祉交流拠点　⑥道の駅「あんとらあ」（整備済み）→ 観光交流拠点

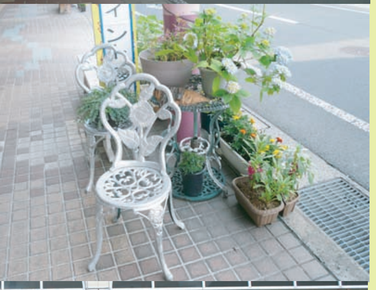
拠点間の距離＝400m以下
→新しい拠点の設置ではなく拠点の強化が回遊性向上になる

光る✨地域資源🍃（まち環境班）
～歩行者数アップまちづくり～

- みんなあづまって活性化（大町グループ）～住民参加型拠点強化～
  - ○複合施設と関善のつなぎ役となる商店街エリアを充実させる
  - ポケットパーク
  - 民俗資料館
- 伝えよう花輪の歴史文化（六日町グループ）～関善エリア一体化計画～
  - ○集客が見込まれる複合施設と対になる関善の集客力を向上する
  - 定期市場
  - 石木田家庭園
  - 景観整備案
- それゆけ！花輪探検隊（サイン計画）～鹿角花輪市街地サイン計画～
  - ○まちなかで拠点案内、観光案内を行い回遊性を向上する
  - まち全体に回遊性を持たせるため案内板等について提案

みんなあづまって活性化
～住民主体型拠点強化～

まち環境班　大町グループ



大町の現状分析

大町では町内会によるまちづくりが実施されている。
具体的な取り組みとして統一されたカラーの柱の装飾やプランター・ベンチの設置がされており、そこからは住民のまちづくりへの関心が高いことがうかがえる。４００理論に基づき大町の回遊性を高めるには、アーケード街近隣にある地域資源を用いた拠点利用を提案し、まちづくりの拡大を図る。

大町に関する鹿角市のまちづくりに対するビジョン
- 回遊性や大堰沿道の魅力ある景観づくり (鹿角市まちづくりビジョン)
- 旧公会堂保存利活用調査事業 (鹿角市中心市街地活性化プラン)

↓

ポケットパーク周辺・民俗資料館周辺の拠点強化

方針

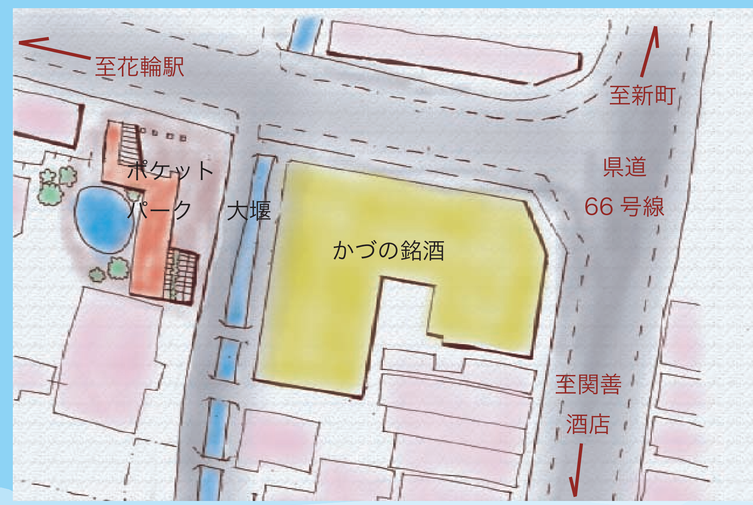
○統一されたデザインにより一体感を創出
○住民が誇り住み続けたくなる魅力的な景観整備
○鹿角市民が参加できるしかけの提供

↓

①かづの銘酒とポケットパークをつなぐ親水空間
②こどもの活躍の場

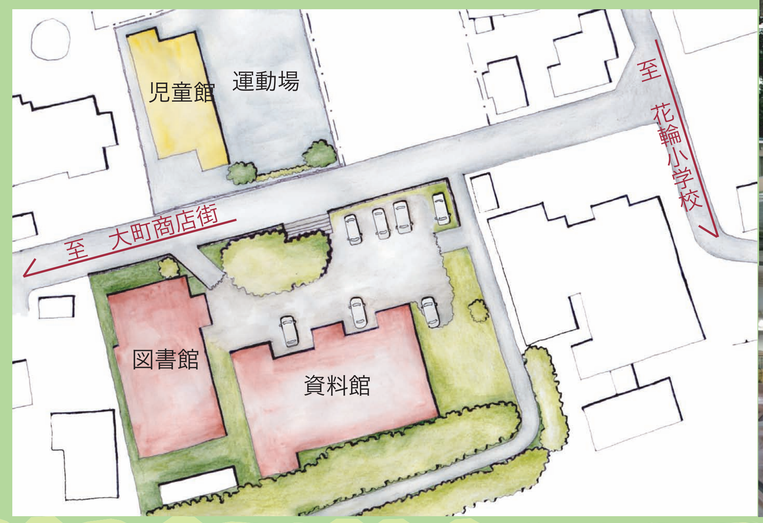
ポケットパーク周辺

- 大堰沿いの景観の統一性に欠ける
- 夜の大堰沿いは人通りが少ない
- ポケットパークの利用が少ない



民俗資料館周辺

- 修復の動きがある
- 資料館に新機能の構想の具体化
- 児童館との関係づくり

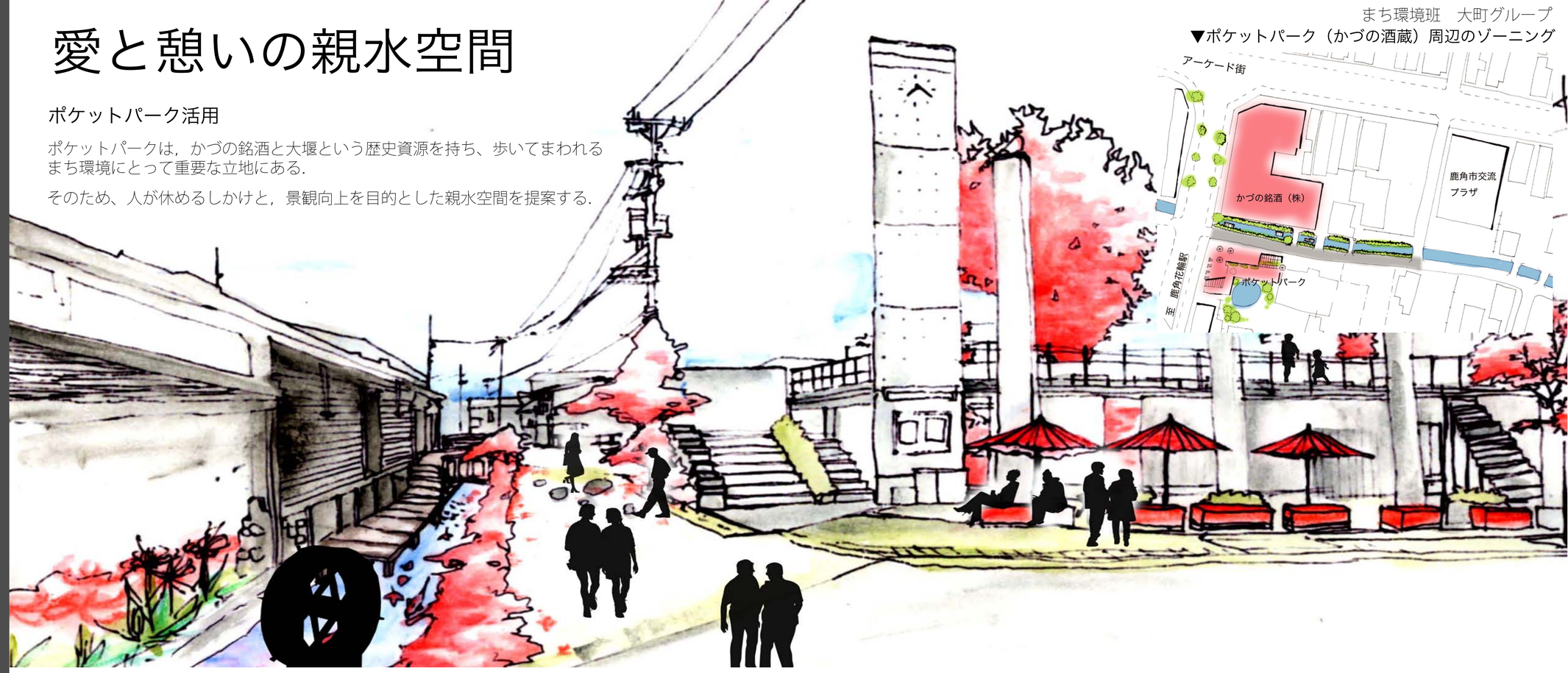


愛と憩いの親水空間

ポケットパーク活用

ポケットパークは，かづの銘酒と大堰という歴史資源を持ち、歩いてまわれるまち環境にとって重要な立地にある.

そのため、人が休めるしかけと，景観向上を目的とした親水空間を提案する.



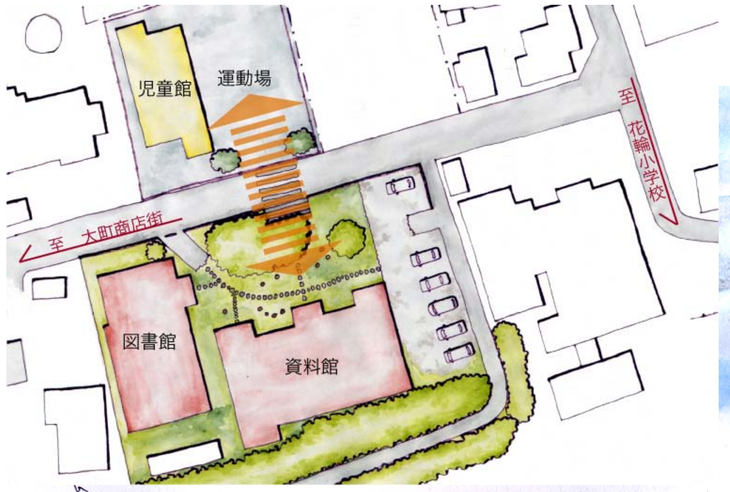
▼ポケットパーク（かづの酒蔵）周辺のゾーニング

▲ポケットパークのようす

▲水車を設置したようす

▲ライトアップのようす

▼資料館（旧鹿角郡公会堂）周辺のゾーニング



つくって学ぶ子どもの活躍の場

子どもの活躍を周辺住民が見守り，育てる事を通じ，地域活性化を目指した“地域と繋がる子どもの活躍の場”を提案する.

ワークショップスペース

普段は地元のボランティア団体の運営の基，放課後の子ども達のワークショップ室として利用する.

絵本ギャラリー

家庭で要らなくなった絵本を回収し，閲覧出来るスペースをつくる.また，その中にワークショップでつくった絵本も展示していく.

資料展示スペース

テーマを設定し厳選した資料を展示するスペースとする.また，資料を用いて実際に当時の暮らし体験できるようにする.

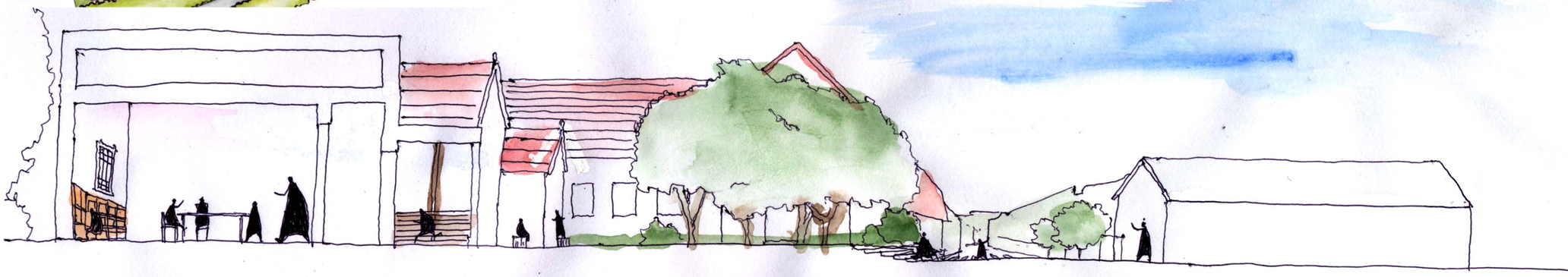
古本市の開催

資料館周辺の賑わいの創出のため，展示会の時期に合わせて，古本市を開催する.

▲古絵本展示のようす

▲体験学習のようす

▲資料館前の庭のようす



伝えよう花輪の歴史文化
～関善エリア一体化計画～

まち環境班　六日町グループ

目的 .

回遊性向上のための拠点強化を行い中心市街地再生、活性化を促す提案を行う

現状分析 .

＜エリア全体＞

（〇）歴史を感じる空間がある
おせどの利用者が多数
資源が多い
（×）統一が関善周辺に限られる

→歴史的雰囲気を全体へ広げる

＜石木田家庭園＞

（〇）立派な庭園
（×）高い塀で囲まれ閉鎖的

→庭園を活かした開放

＜定期市場＞

（〇）歴史のある市が立つ
こみせ空間が特徴的
（×）市のない時には閑散
シャッターが寂しい

→市のない時の利用法

方針 .

関善周辺エリア：歴史交流拠点

〇交流の場の提供
〇一体的なにぎわいの創出
〇歴史を活かした魅力的な景観整備
〇住民参加による「わがまち」意識の向上
→まちづくりの中心拠点へ

提案 .

＜エリア全体＞[1]
関善周辺エリアは景観の統一が一部に限られている。有形文化財の関善をより魅力的なものにするためにはエリア全体での雰囲気作りが重要である。
＜提案＞
1. 竹垣プロジェクト
　一種のイベントして開催。住民から竹を売るという名目で資金を募り、竹垣を作っていく。竹垣施工も住民が行う。出資者には名前が残るという特典付きで愛着を持たせる。住民の手により景観作りを行うことで愛着・美意識を高める

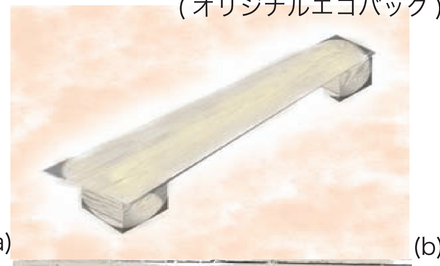
2. 石畳化、カラー舗装
　雰囲気作りのひとつとして通路を石畳にかえる。市があることを考慮し、一部分はカラー舗装に留めておく
3. 緑化
　プランターなどの簡易な緑化を行う。将来的には植樹へ移行していく
以上の提案よりエリア全体の雰囲気を一新し関善がよりいっそう魅力的になる

＜定期市場＞[2]

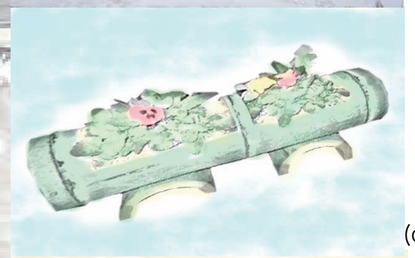
定期市場での課題は、市以外時の使用をどうするかと朝市開催を継続するためにどうするかである。そのため、日頃から使用され場所に多様性を持たせる提案と市開催時についての提案を行う。

（オリジナルエコバック）

(a)



(b)



(c)

(d)

(e)

(f)

＜提案＞1. 休憩の場、鑑賞の場、交流の場としての利用

こみせの下にまちの名産品やオリジナル提灯 (a) を展示し、イス･プランター (b,c) を置くことで鑑賞の場・休憩の場としての印象を強める。地元住民用に連絡掲示板を設置し六日町の交流・情報交換拠点として使用してもらう。観光客向けにはまち案内板を設置し、まちの歴史・文化を歩きながら楽しめるようにする (d)。

＜提案＞2. シャッターアート

シャッターに絵を描くことで華やかにする。花輪にゆかりのある漫画家（高橋陽一、やくみつる）に描いてもらうことでいっそう盛り上がると考える。シャッターアートにより空間が明るくなり、さらに漫画家に描いてもらった場合話題性があるので新しい層の客の呼び込みにつながる。また、芸術の教育の場としても有効である。

＜提案＞3. 仮設の飲屋街

花輪の特産物である酒・花輪ばやしを活かし、月に２回程度仮設の飲屋街を形成する。日程は朝市と連動することで朝市の　客も巻き込んで行う。屋台デザインは花輪ばやしをイメージしたもの (e) でイベント時に小規模な花輪ばやしを楽しめる。この　イベントを通じて、地元住民にはより交流を広げてもらい、観光客は８月の花輪ばやし本番に引き込む。

＜石木田家庭園＞[3]

石木田家庭園は立派な庭園である。今回はこの庭園の開放利用像の提案を行う。庭を活かす、日本の良さを感じられる空間ということを考慮する。

＜提案＞

1. 母屋は日本文化（華道、茶道等）を学ぶ教室として週１程度で利用
   日本文化を学ぶ空間として利用し、将来へ文化を継承していく。
2. 庭園は通り抜け (g) や鑑賞、癒しの空間として開放
   週１程度で開放し、日本の美に触れる機会を設ける。利用例としては　通り抜けるだけや庭園の鑑賞、静かな空間での読書 (h) などが考えられる。

以上の提案より日本の文化の継承、美意識を高める空間と変化する。

(g)

(h)

＜提案＞４. 朝市に新規客とリピーターを増やす工夫

- ロゴマーク、市場キャラクター作成…市場に愛着を持ってもらう
- ポイント制度の導入…リピーター増加がねらい。商店街等と協力すればまち全体での効果となる。
- オリジナルエコバック…ここでしか手に入らないブランドとして確立。
- ブログ等でのネット配信…現代の世の中に合わせた手法を利用。
- 市場案内板の設置…客がスムーズに移動ができるようにその日の店の配置や商品案内、イベント等を書き込む (f)。

それゆけ！花輪探検隊
～鹿角花輪市街地サイン計画～

まち環境班　　サイン計画

【目的および分析結果】

6

6 4 .

2

6 1 g

3

6 . 2 F

4

N

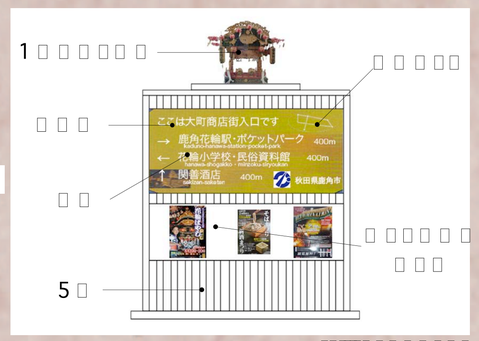
地域住民にサインをみた観光客も季節毎の催しものを知ることができ、さらなる集客・リピート効果を狙う。

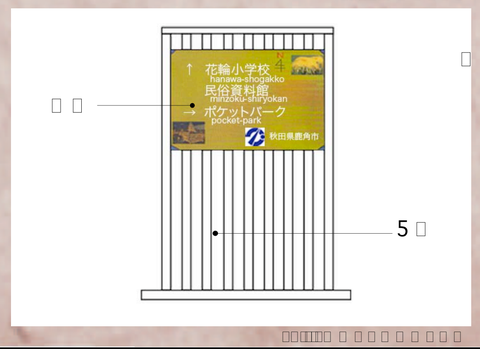
サイン計画を行うことで、まち全体に統一感を出したい。

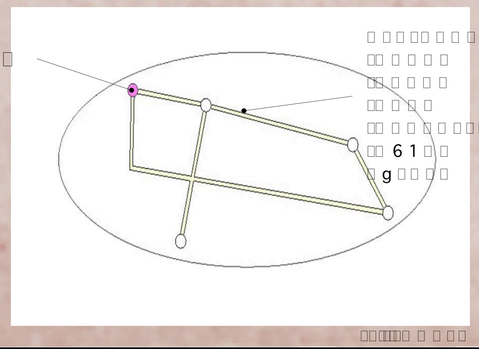
【提案】

3 2 61

1

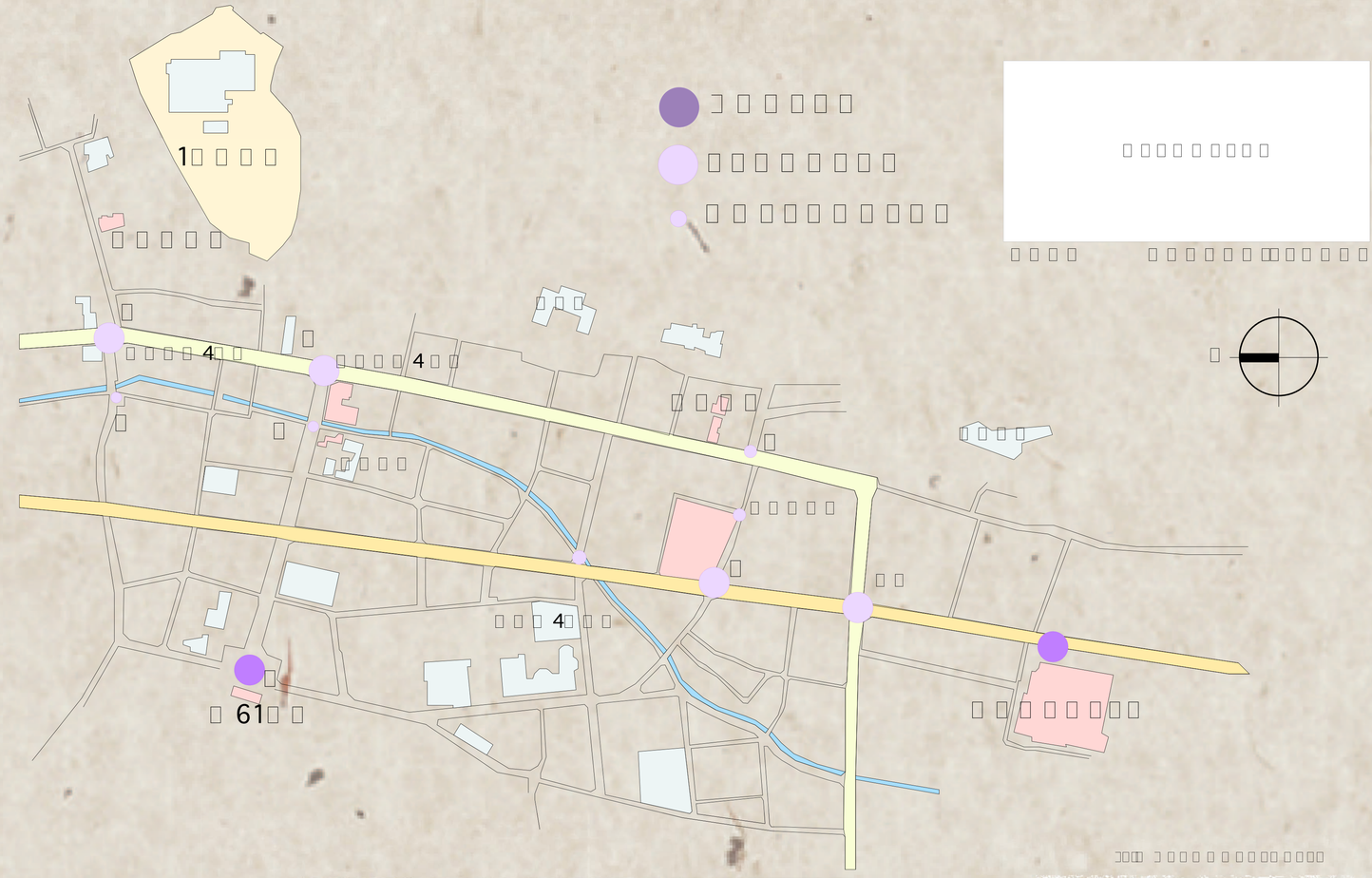


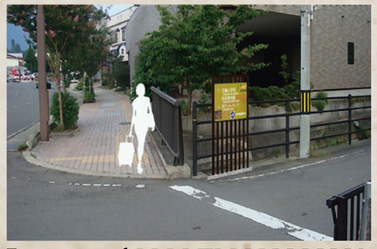




【配置ポイントと完成イメージ】

61





1

4

そうだ
かづの、
行こう。

教員　浅野耕一　山口邦雄　小川広樹

屋敷活用班　屋敷グループ　＊金子佑　島淳一　鈴木結花　小笠原聡美　北山絵梨奈

奥蔵グループ　＊立花葵　佐藤彩夏　上村翔子　渡辺豊　大塚洸

■ 目的

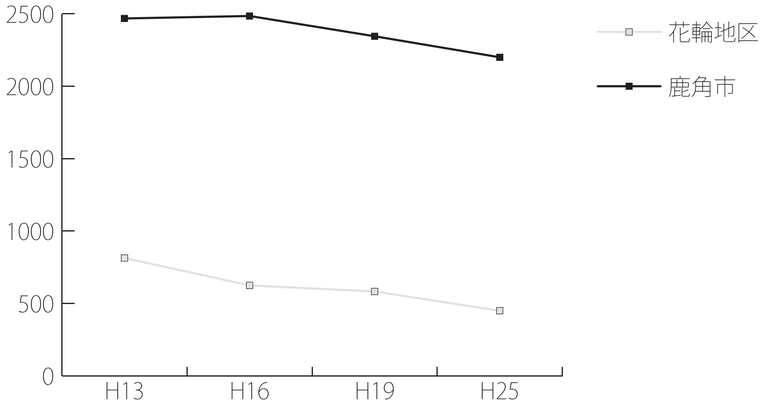
関善酒店の屋敷と奥蔵を、地域活性化の素材として捉え、活用像・修復像等の提案を行うこと。

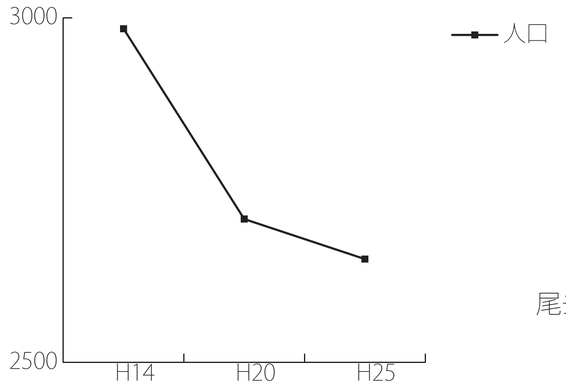
■ 現状分析

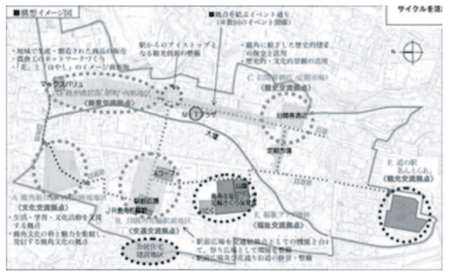
- 少子高齢化、中心市街地の高齢化
- 地域人口の減少
- 秋田県への玄関口
- 周囲に観光地が点在
- 古くから続く町
- 歴史交流拠点の整備

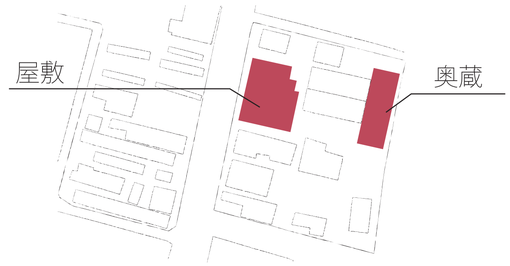
■ 方針

歴史的建築物を活かし、地域の新たな魅力発見の場となることで建物の保存・持続的な活動を目指す。



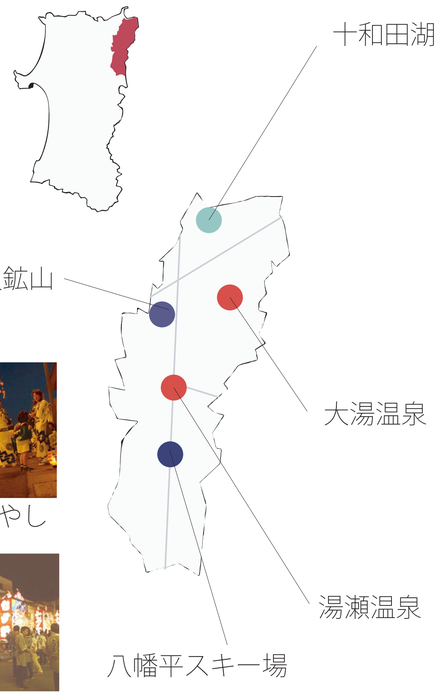




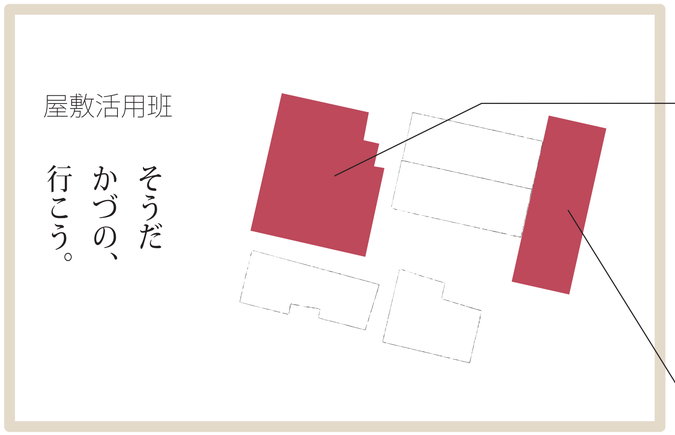


花輪ばやし

花輪ねぷた



■ 提案とグループの位置づけ



屋敷グループ

見て！触れて！感じよう！
我らが育てる関善屋敷

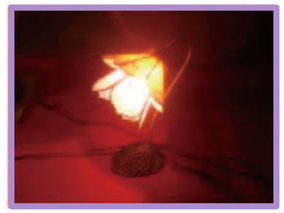
- 関善酒店の母屋
- 築 105 年
- 間口 27m、奥行き 20m
- コミセを持つ
- 国の登録有形文化財

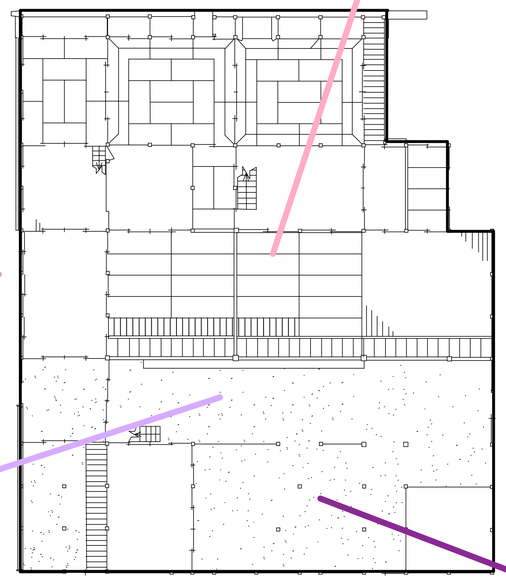
奥蔵グループ

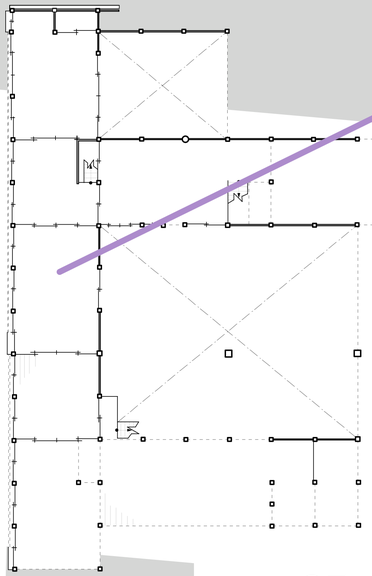
みんなで活かすくらしっく

- 関善酒店の酒蔵
- 異なる構造
- コンサートホール、展示室

として利用







■方針

幅広い世代の会員の獲得＆恒久的な資金の確保

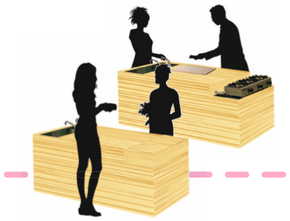
□□ □ □

ソフト

□ □ □ □ □ □□ □ □ □ □ □□□ □ □ □□
□ □ □ □□ □ □ □ □ □ □

現在〜1、2年

3年



5年

□ □ □ □ □□□ □ □ □□□ □ □ □ □ □ □ □□ □ □
□□ □ □ □ □ □□□ □ □ □ □ □
□□ □ □ □ P □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
□□□ □ □ □ □ □ □ □
□□ □ □ □ □ □ □
□□□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
□□ □ □ □ □□ □ □ □

□ □ □ □ □□ □ □□□ □ □
□ □ □ □ □ □ □ □ □
□□ □ □ □ □ □ □□□ □
□□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
□□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
□ □ □ □ □ □ □ □□□ □ □ □ □ □ □
□ □ □ □ □□ □ □□□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
□ □ □ □□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □□ □ □□ □ □ □ □ □ □ □ □

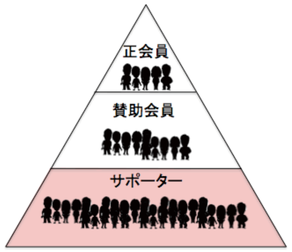
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

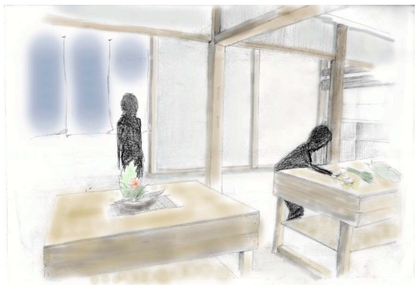
□ □ □ N□ □ □ □ □

□ □ □ □ □ □ □ □ □
□□ □ □ □
□□ □ □ □
□□ □ □ □

□ □□ □□ □□ □ □ □ □ □ □ □ □

□ □ □ □ □ □ □ □ □
□□ □ □ □□ □□ □ □ □ □ □
□□ □ □ □ □□ □ □ □ □ □ □ □□□□ □ □ □
□□ □□ □ □ □□□□ □ □





□ □ □ → □ □ □ □ □ → □ □ □ □ □ □ □ → □ □ □ → □ □ □

ハード

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □□
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □□

現在〜1、2年

3年

5年

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □□ □ □ □
□□ □ □ □ □ □ □
□□ □ □ □ □ □ □ □ □□□ □ □
□□ □□ □ □ □□□ □ □ □ 0
□□ □ □ □ □
□□ □ □ □ □

□ □□ □ □□ □ □
□□ □ □ □ □ □ □ □ □□ □ □ □ □□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
□□ □ □ □ □ □ □ □ □

□ □ □ □ □ □ □
□□ □ □ □ □□ □ □ □
□□ □ □ □ □ □ □ □ □ □
□□ □ □ □ □

□ □ □ □ □
□□ □ □ □ □ □ □□ □ □ □□ □□ □ □ □ □ □□ □ □ □
□ □ □ □ □

関善 - 奥蔵 -

みんなで活かすくらしっく

屋敷活用班 - 奥蔵グループ -

そうだ、かづの行こう

関善酒蔵

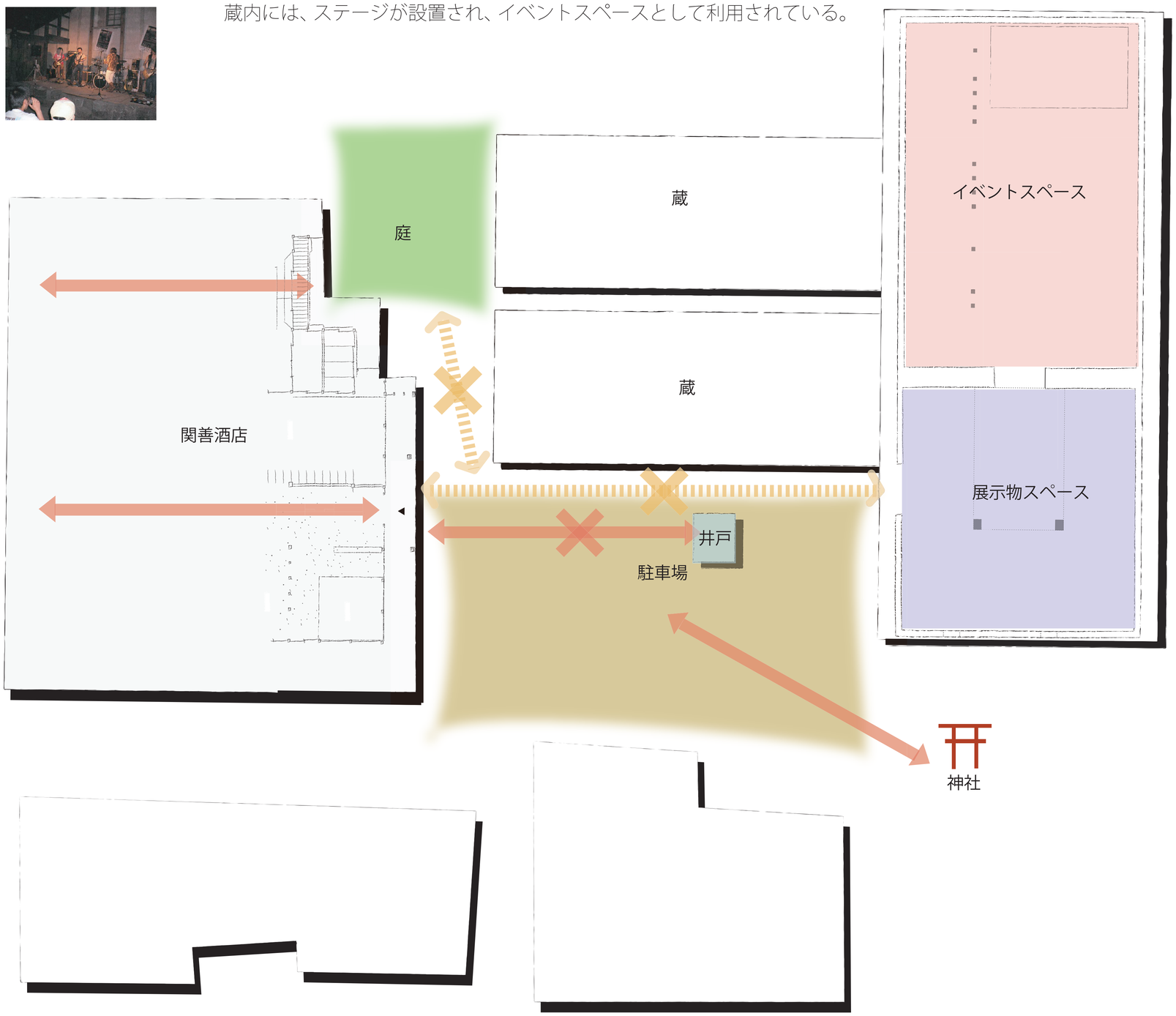
関善酒店は、花輪地域有数の「大つき方」であった。現存の旧関善酒店主屋は、六日町などを含む「花輪大火」によって類焼したため一九〇五年（明治三十八年）に建築されたものである。木造一部三階建て、間口（県道側）二七m、奥行き二〇m、三層からなる桁組みで、吹き抜きの大屋根は十・五mに達する。県道拡張などの事情から曳家（ひきや）による保存が図られることとなり、二〇〇四年（平成十六年）四月から曳家工事が始まり、同年八月に完了した。二〇〇六年（平成十八年）八月三日、登録有形文化財として登録された。

蔵と私のいい関係

〈調査結果〉

■関善酒店　奥蔵

関前酒店の酒蔵として利用されていた蔵。
現在は、NPO 法人関善にぎわい屋敷が土地と建物を管理している。
蔵内には、ステージが設置され、イベントスペースとして利用されている。



■縁側前の庭

＋ 屋敷の室内は庭を眺めるための空間として造られている
－ 道具などがあり雑然としたイメージを受ける

■イベントスペース

＋ 効果的に照明が使われた雰囲気のある空間
－ 多数の展示物が点在

■展示物スペース

＋ 酒造りの歴史が残る空間
－ 所々に見られる仮設的な覆い

■駐車場

＋ 酒造り作業場の名残
－ 当時の面影がわからない風景

参考資料：奥蔵コンサート　http://www48.tok2.com/home/session2562000/8data/KIF_211.jpg

〈提案〉 - 第二の人生を歩む蔵 -

■強みを活かして

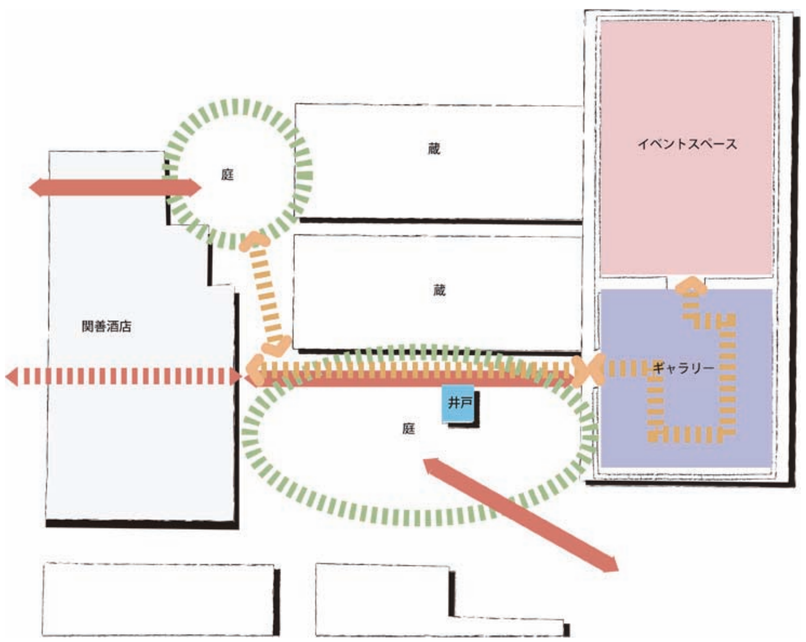
・室内からの眺めが絵となるような庭とする
・イベントスペースの雰囲気のある空間を強調、統一
・展示スペースは歴史を感じさせる空間として整備
・駐車場は屋敷と奥蔵を繋ぐ場と酒造りの歴史を感じさせる空間として整備

■方針

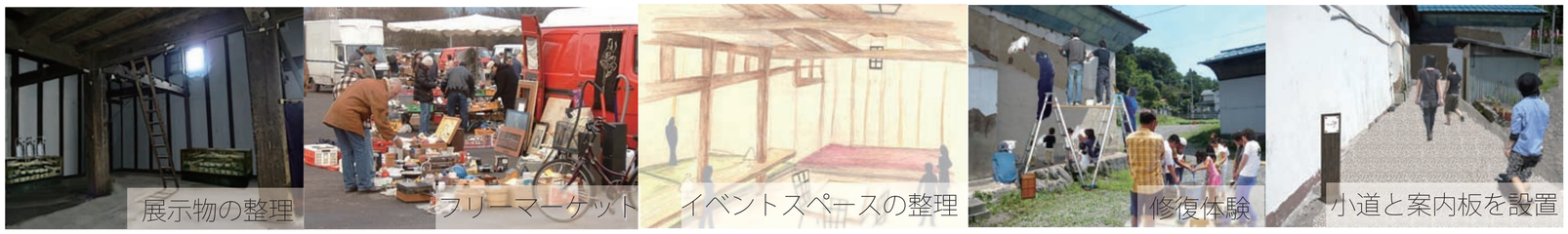
まちづくりの拠点として、地域住民同士の交流の場提供
歴史的建築物を活かした風景づくり
保存していくための体制づくり

・イベントスペースとしての利用
→食講座
→コンサート
→上映会
→ビアガーデン

・ギャラリーとしての利用
→展示（伝統工芸品、酒造り関連、アート等）
→骨董品をインテリアとして展示



■1～2 年後　蔵と展示物がもつ歴史を生かす



■3 年後　四季に応じた活動の展開、建物の維持管理

■5 年後　屋敷や町との連携を強化し、住民の活動場所の 1 つに

■将来像

新しい鹿角に出会う空間へ、ご案内いたします。

参考資料：
蔵 オビハチ「灯蔵」 http://forum.inax.co.jp/renovation/archives/065obihachi/065-summary.html
由利正宗　http://blog.goo.ne.jp/ham-age/c/5ced6dd1af67eca8f682d9abb3a1ecbd
ウィキペディア　http://ja.wikipedia.org/wiki/